

# 大阪社保協通信

メールアドレス: osakasha@poppy.ocn.ne.jp

<http://www.osaka-syahokyo.com/index.html>

第 1268 号 2023.9.8

TEL 06-6354-8662 Fax06-6357-0846

大阪社会保障推進協議会

## 8月29日大阪府国民健康保険運営協議会で次期大阪府国保運営方針案示される

### ★「保険財政の安定的運営」「事業運営の効率化」「負担の公平性」を強調

8月29日、大阪府国保運協が開催され、2024～2029年度までの次期大阪府国保運営方針(素案)が示されました。

冒頭、国保課から「来年度から大阪では全国に先駆けて完全統一を実施。この間府下の市町村と協議を重ね丁寧な合意形成をはかってきた。今日は忌憚のないご意見を」とあいさつがあり、担当職員から素案について説明がありました。しかし、「高すぎる国保料」を含む構造的問題を解決するために始めた統一化によって、一人あたり国保料が上がり続けている問題には触れられず、「保険財政の安定的運営」「事業運営の効率化」「負担の公平性」などが強調されるものでした。

保険料抑制については、「上昇が今後も続くと思込まれる状況から…府内統一保険料の抑制・平準化を図っていく」ために、①市町村国保会計の黒字活用、②国の交付金、府の繰入金等の活用、③府の剰余金(基金)の活用を行う旨説明があり、①については、R6～8年度で一人当たり約680円(各年度)を引き下げる方針が示されましたが、検証が必要です。

委員からは「全国に先駆けて大阪で完全統一という話だが、他府県はどうなっているのか?」「そもそも統一化の目的は?」等の質問が出され、「大阪以外でR6年に完全統一するのは奈良のみ。沖縄も目指していたが、リスキするように」「府下市町村の国保会計の累積赤字が大阪は全国一大きかった。橋下知事の時代に首長の皆さんと話し合い、広域化の要望を出したのがきっかけ。その結果累積赤字は解消され、黒字に好転している」と回答がありました。

6月、厚労省が都道府県が策定する「国保運営方針」の指針となる策定要領を改定しました。都道府県国保運営方針に保険料水準を統一する目標年度の記載するよう迫り、同じ所得水準・世帯構成であれば同じ保険料とする「完全統一」をめざすよう求めています。

大阪府では2018年度から維新府政のもと全国に先駆けて府内統一化が強行され、国保料だけでなく減免基準や事務運用まで統一化が進められてきました。まさに大阪が国保改悪の先導役になっています。しかし、国保運営方針はあくまでも地方自治法に基づく「技術的助言」であり、国保料や減免の決定権は市町村にあります。今後行われる、国保運営方針(素案)のパブコメで高すぎる国保料が解決どころか深刻化している問題を突きつけ、統一化を許さない声を大きくしましょう。

(大阪商工団体連合会・西村さん)

## ★大阪府国保運営方針改定スケジュール

2023年 8/29	国保運協 運営方針の素案提示
9/22～10月中旬	市町村の意見聴取
10月中旬～11月中旬	パブコメ
11月	市町村の調整会議 運営方針協議 国保運協 運営方針を諮問
12月	運営方針決定、公表

# 大阪府統一国保料がなぜ高いのか？～大阪府の事業納付金計算に対する疑問について

## ★日本一高い「大阪府統一国保料」

昨年 11 月、中央社保協が全国の社保協に呼びかけて、全国の大都市国保料調査を実施しました。その結果予想通り「大阪府統一国保料」が全国の補遺の大都市国保料に比してとびぬけて高いことが判明しました。この調査結果一覧は「2023 年自治体キャラバン資料集」83 頁に掲載しています。また、資料集の全データは大阪社保協ホームページ→2023 自治体キャラバンページにアップしています。

### 【2022 年度 所得 200 万円 40 歳代夫婦＋小学生＋中学生の 4 人家族の国保料年額(円) 抜粋】

統一保険料	大阪市	堺市	東大阪市	京都市	神戸市	横浜市	新宿区	名古屋市	札幌市
412,115	396,073	387,779	412,109	354,440	332,680	262,440	295,526	233,760	339,360

## ★自治体キャラバンで国保担当課長が理由として挙げていること

大阪社保協では現在、2023 年度自治体キャラバン行動を展開し、すでに泉南市(8 月 1 日)、寝屋川市(8 月 8 日)、岸和田市(8 月 18 日)、豊中市(8 月 21 日)、門真市(8 月 23 日)、千早赤阪村(8 月 24 日)、和泉市(8 月 25 日)、河内長野市(8 月 28 日)、岬町(8 月 30 日)、高石市(8 月 31 日)との懇談を終了しました。

国保担当課長に対して「なぜ大阪府統一国保は日本一高額となるのか?」「大阪府からどのような説明をしているのか?」との問いを投げかけていますが、①医療費が年々高くなっていること②被保険者が年々減っていること、の 2 点が原因との説明です。

## ★大阪府一人当医療費が日本一高いわけではない

しかし、令和 3 年度厚労省「医療費の地域差分析」によると一人当医療費は以下であり(番号は順位)、2023 年度一人当必要保険料(総事業費納付金を被保険者で割った金額)も都道府県のホームページからひろうと以下のようになっています。

① 高知県	439,754 円	2023 年度一人当必要保険料額	137,445 円
② 鹿児島県	424,726 円		
③ 長崎県	416,861 円		

④ 大分県	412,337 円	131,150 円
⑤ 徳島県	404,943 円	141,381 円
⑥ 佐賀県	400,479 円	127,934 円
⑦ 山口県	399,479 円	114,301 円
.....		
⑰大阪府	363,076 円	162,417 円

## ★大阪府統一国保料がどこよりも高くなる理由として考えられること

大阪府は一人当医療費は全国一高いわけではなく、全国 17 位です。しかし、一人当必要保険料がとびぬけて高いのはなぜなのでしょう？

### ① 大阪全体で大きな誤差が生まれているのではないか

例えば 2023 年度納付金計算・標準(大阪府の場合は統一)保険料計算は、2020 年度データ(コロナ一年目)に基づいて計算されます。つまり、3 年前データに基づき、医療費総額、所得総額、被保険者数を予想し計算するので都道府県単位になると、相当な誤差が生まれるのではないかと考えられます。ちなみに 2024 年度統一保険料は 2021 年度データ(コロナ 2 年目)に基づき計算されます。

市町村で保険料を賦課する場合は、見込の直近データ、たとえば 2023 年度保険料は、2022 年度見込で計算できます。また、1 自治体であれば誤差もそう大きくなりません。

大阪府内市町村でも、統一保険料に合わせていない自治体は、「標準保険料率(統一保険料率)」がださなくても、市町村自らが試算し、納付金が支払える範囲で保険料を賦課するので調整が効きますが、来年からの統一にあわせるためにその調整もしない傾向が強くなっていると考えられます。

### ② 医療費水準を考慮しない統一保険料だが、実際は医療費水準に格差がある

大阪府の統一国保では医療費水準を考慮せずに事業費納付金を計算し、被保険者の所得と被保険者数に応じて市町村に事業費納付金を割り振り、計算します。

しかし、国保会計は大阪で一つではなく、市町村ごとであり、実際には市町村ごとの医療費水準の格差があり、医療費支払い(医療給付費)はその医療費の実態に応じて大阪府が支払うので、統一保険料にしていると、比較的医療費水準が小さい自治体には大きく黒字が生まれるのではないかと考えられます。

### ③ そもそも大阪府の事業費納付金の見積もりが多すぎるのではないか

表①は 2021 年度大阪府内市町村国保会計決算です。

2021 年度は大阪全体で見ると黒字が 138 億円で被保険者一人当 7646 円の黒字です。市町村ごとで見ると、さらに黒字幅が大きいという、能勢町は一人当 5 万円、藤井寺市は 3.5 万円、大東市 3 万円、池田市 2.7 万円、吹田市 2.3 万円、大阪狭山市 1.9 万円の黒字です。これらの自治体は単純にいうと、その金額分、保険料が高すぎたといえるでしょう。

2020 年はコロナ 1 年目で、診療抑制がおきたため医療給付が大幅減少、国保会計は大きく黒字を出しました。2021 年度は若干統一保険料率を下げましたが、それでも大きく黒字となっています。

表②は 2017 年度～2021 年度の府内市町村国保基金残高の推移で、収支に現れない「基金」が 2018 年度からの都道府県単位化・大阪府統一国保以降大きく増え 2017 年度の三倍化していることがわかります。統一方針がなければ、次年度繰越して国保料を引き下げするための原資になったはずの黒字分です。2021 年度一人当基金残高は表①をみると 1.7 万円、市町村ごとで見ると島本町 10.3 万円、田尻町 7.8 万円、守口市 7.5 万円、能勢町 6.6 万円、交野市 5.4 万円、阪南市 5 万円・・・と続きます。

表① 2021年度(令和3年度)大阪府内市町村国保会計決算

全国国民健康保険事業年報より大阪社保協作成								
	保険者名	加入者数	収支		一般会計法定外繰入		基金残高	
			金額	一人当	金額	一人当	金額	一人当
1	大阪市	590,497	2,388,090,465	4,044	1,977,065,370	3,348	7,005,332,878	11,863
2	堺市	166,846	49,400	0	112,820,412	676	6,535,132,141	39,169
3	岸和田市	40,353	234,351,828	5,808	23,040,697	571	288,813,396	7,157
4	豊中市	74,655	1,181,310,435	15,824	207,793,911	2,783	0	0
5	池田市	19,269	531,226,475	27,569	0	0	0	0
6	吹田市	63,331	1,469,929,919	23,210	81,192,551	1,282	0	0
7	泉大津市	14,404	65,516,010	4,548	10,922,000	758	225,324,981	15,643
8	高槻市	66,368	543,759,867	8,193	45,408,558	684	0	0
9	貝塚市	16,549	251,700,144	15,209	10,124,160	612	650,000,000	39,277
10	守口市	29,044	365,030,829	12,568	17,871,000	615	2,173,641,208	74,840
11	枚方市	76,931	486,550,723	6,325	54,369,638	707	727,754,696	9,460
12	茨木市	49,442	1,137,415,560	23,005	57,528,347	1,164	0	0
13	八尾市	55,321	394,616,406	7,133	93,400,000	1,688	1,208,998,610	21,854
14	泉佐野市	19,877	686,363,989	34,531	10,121,921	509	200,401,178	10,082
15	富田林市	23,326	362,729,949	15,550	6,623,802	284	0	0
16	寝屋川市	50,086	471,215,358	9,408	65,130,231	1,300	658,235,800	13,142
17	河内長野市	22,882	31,458,986	1,375	22,710,046	992	982,930,094	42,956
18	松原市	26,143	-1,355,184,095	-51,837	17,844,174	683	0	0
19	大東市	25,637	751,639,105	29,319	16,437,107	641	388,587,003	15,157
20	和泉市	37,212	44,176,495	1,187	32,063,177	862	1,457,331,123	39,163
21	箕面市	25,513	223,699,751	8,768	54,622,695	2,141	346,016,833	13,562
22	柏原市	14,569	145,346,483	9,976	8,377,353	575	293,995,817	20,180
23	羽曳野市	24,206	170,797,413	7,056	18,726,098	774	1,052,701,202	43,489
24	門真市	27,541	187,451,737	6,806	24,319,306	883	0	0
25	摂津市	17,075	19,027,750	1,114	15,998,198	937	446,263,724	26,136
26	高石市	11,506	30,976,259	2,692	21,600,000	1,877	0	0
27	藤井寺市	13,376	464,182,963	34,703	29,382,000	2,197	257,912,263	19,282
28	東大阪市	102,325	1,495,721,748	14,617	418,035,812	4,085	3,076,065,000	30,062
29	泉南市	16,659	85,647,757	5,141	23,531,802	1,413	0	0
30	四條畷市	10,828	80,315,987	7,417	3,915,228	362	475,406,326	43,905
31	交野市	13,949	180,871,473	12,967	18,872,209	1,353	744,701,685	53,387
32	島本町	5,571	22,488,183	4,037	5,352,646	961	575,993,692	103,391
33	豊能町	4,854	69,058,231	14,227	1,604,583	331	20,000,000	4,120
34	能勢町	3,004	147,603,455	49,136	2,371,856	790	198,911,244	66,215
35	忠岡町	3,460	9,767,676	2,823	3,609,000	1,043	62,631,167	18,101
36	熊取町	9,050	68,445,652	7,563	8,267,345	914	144,841,312	16,005
37	田尻町	1,499	32,859	22	1,089,840	727	117,594,147	78,448
38	阪南市	11,954	110,950,776	9,281	5,686,427	476	605,293,389	50,635
39	岬町	3,798	0	0	1,874,708	494	39,834,480	10,488
40	太子町	2,856	20,879,609	7,311	5,121,969	1,793	87,086,505	30,492
41	河南町	3,458	26,930,059	7,788	1,556,005	450	78,462,303	22,690
42	千早赤阪村	1,446	5,357,229	3,705	923,418	639	63,080,188	43,624
43	大阪狭山市	11,292	216,479,558	19,171	9,838,105	871	423,056,781	37,465
	大阪府合計	1,807,962	13,823,980,456	7,646	3,547,143,705	1,962	31,612,331,166	17,485

**表②2017-2021年度大阪府内市町村国保基金残高推移**

	保険者名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	大阪市	0	0	2,253,367,960	3,924,571,867	7,005,332,878
2	堺市	3,811,941,120	3,888,417,226	5,233,472,487	5,809,965,206	6,535,132,141
3	岸和田市	0	0	0	0	288,813,396
4	豊中市	0	0	0	0	0
5	池田市	0	0	0	0	0
6	吹田市	0	0	0	0	0
7	泉大津市	0	0	79,041,906	161,101,490	225,324,981
8	高槻市	0	0	0	0	0
9	貝塚市	0	0	0	400,000,000	650,000,000
10	守口市	1,000,000,000	1,123,155,230	1,501,771,678	1,852,975,564	2,173,641,208
11	枚方市	0	0	727,682,000	727,733,539	727,754,696
12	茨木市	0	0	0	0	0
13	八尾市	0	300,069,289	635,549,535	615,508,705	1,208,998,610
14	泉佐野市	19,756	200,352,733	200,375,240	200,395,167	200,401,178
15	富田林市	0	0	0	0	0
16	寝屋川市	1,130,566,991	1,328,900,746	1,226,680,844	699,663,650	658,235,800
17	河内長野市	191,359,066	898,614,452	975,695,471	976,682,747	982,930,094
18	松原市	0	0	0	0	0
19	大東市	0	0	0	0	388,587,003
20	和泉市	1,059,724,420	939,744,372	1,019,460,987	1,327,594,532	1,457,331,123
21	箕面市	394,314	394,314	394,810	394,833	346,016,833
22	柏原市	0	0	0	147,437,671	293,995,817
23	羽曳野市	675,456,807	717,217,469	804,355,083	957,906,359	1,052,701,202
24	門真市	0	0	0	0	0
25	摂津市	0	362,623,550	385,557,410	401,984,273	446,263,724
26	高石市	0	0	0	0	0
27	藤井寺市	7,897,210	7,906,509	7,910,682	7,911,316	257,912,263
28	東大阪市	1,739,000,000	2,520,900,000	2,499,064,000	2,549,864,000	3,076,065,000
29	泉南市	0	0	0	0	0
30	四條畷市	322,002,805	464,337,255	537,518,326	523,140,789	475,406,326
31	交野市	170,170,550	398,699,550	540,682,062	646,029,626	744,701,685
32	島本町	246,164,643	459,433,643	533,039,740	548,983,867	575,993,692
33	豊能町	0	60,000,000	60,000,000	40,000,000	20,000,000
34	能勢町	150,911,244	250,911,244	236,911,244	204,911,244	198,911,244
35	忠岡町	0	0	19,471,458	41,141,900	62,631,167
36	熊取町	0	59,909,000	59,939,541	59,965,541	144,841,312
37	田尻町	33,525,052	83,704,013	99,515,460	110,929,511	117,594,147
38	阪南市	263,165,050	253,187,372	403,202,528	576,320,514	605,293,389
39	岬町	42,175	173,665,742	17,623,790	120,574,130	39,834,480
40	太子町	55,345,220	74,845,220	90,029,855	89,817,505	87,086,505
41	河南町	78,312,670	78,311,849	78,413,398	78,443,689	78,462,303
42	千早赤阪村	142,601,334	142,798,884	142,943,964	113,055,774	63,080,188
43	大阪狭山市	0	400,242,630	450,628,187	322,911,034	423,056,781
<b>基金残高合計</b>		<b>11,078,600,427</b>	<b>15,188,342,292</b>	<b>20,820,299,646</b>	<b>24,237,916,043</b>	<b>31,612,331,166</b>

表③2018-2023一人当必要保険料比較

市町村名	2018年度 保険料収納 必要額①	2019年度保 険料収納必 要額②	2020年度保 険料収納必 要額③	2021年度 保険料収納 必要額④	2022年度 保険料収納 必要額⑤	2023年度保 険料収納必 要額⑥	2018年①→ 2023年⑥値 上率	
<b>府全体平均</b>	<b>127,894</b>	<b>139,669</b>	<b>148,247</b>	<b>142,845</b>	<b>147,786</b>	<b>162,417</b>	<b>27%</b>	
1	大阪市	123,968	135,118	143,745	139,310	143,922	160,781	30%
2	堺市	120,736	133,668	145,933	139,393	145,585	159,690	32%
3	岸和田市	126,406	137,164	145,751	140,858	144,460	157,504	25%
4	豊中市	139,948	152,770	160,261	153,739	158,889	173,408	24%
5	池田市	134,835	146,956	160,282	154,399	159,810	172,817	28%
6	吹田市	137,003	151,643	161,272	156,363	160,633	174,840	28%
7	泉大津市	124,670	136,424	144,558	139,665	144,178	158,254	27%
8	高槻市	136,754	149,732	156,480	150,583	156,386	170,193	24%
9	貝塚市	125,821	137,778	144,780	138,614	143,763	157,821	25%
10	守口市	124,592	136,417	144,787	139,778	143,771	154,719	24%
11	枚方市	131,003	142,494	150,215	144,651	149,420	163,597	25%
12	茨木市	140,091	153,363	160,938	154,306	150,318	175,059	25%
13	八尾市	132,906	143,373	150,621	142,248	146,679	159,510	20%
14	泉佐野市	125,932	138,052	146,403	140,947	145,560	164,165	30%
15	富田林市	129,001	140,666	149,216	142,879	148,613	162,706	26%
16	寝屋川市	120,319	131,588	141,052	135,744	141,620	152,970	27%
17	河内長野市	133,509	146,676	152,711	146,141	151,605	164,332	23%
18	松原市	123,540	133,911	141,701	136,312	140,726	152,943	24%
19	大東市	120,848	132,642	141,039	137,370	144,091	154,712	28%
20	和泉市	131,318	143,373	151,306	145,775	150,356	164,019	25%
21	箕面市	146,556	159,409	166,967	160,169	164,933	179,898	23%
22	柏原市	129,522	140,795	149,390	143,643	149,063	162,740	26%
23	羽曳野市	127,871	138,864	146,838	142,152	148,146	161,269	26%
24	門真市	125,597	136,721	144,875	139,209	143,567	154,829	23%
25	摂津市	136,741	149,143	156,444	150,996	155,456	167,955	23%
26	高石市	124,536	136,972	147,952	142,676	147,207	160,409	29%
27	藤井寺市	124,257	133,563	143,095	138,026	143,928	156,779	26%
28	東大阪市	127,451	139,690	146,957	141,908	146,624	160,810	26%
29	泉南市	112,417	120,750	126,582	120,938	124,804	136,005	21%
30	四條畷市	128,693	140,153	148,828	143,224	148,742	162,834	27%
31	交野市	138,502	151,865	160,322	154,301	159,854	172,858	25%
32	島本町	144,218	155,935	161,982	155,012	160,338	172,707	20%
33	豊能町	151,423	164,273	170,177	160,264	164,947	171,937	14%
34	能勢町	130,622	141,513	147,430	144,633	150,316	161,174	23%
35	忠岡町	124,374	134,869	142,988	138,682	142,938	152,898	23%
36	熊取町	135,888	148,633	152,826	149,002	152,776	165,452	22%
37	田尻町	125,529	134,414	141,190	137,963	142,577	156,199	24%
38	阪南市	123,253	133,971	141,704	136,657	142,715	155,038	26%
39	岬町	133,056	142,329	151,170	144,759	149,414	158,474	19%
40	太子町	138,901	150,793	159,380	153,869	160,833	169,728	22%
41	河南町	139,046	150,115	156,574	150,258	153,090	162,903	17%
42	千早赤阪村	141,467	153,204	160,752	156,307	160,614	170,737	21%
43	大阪狭山市	137,901	149,495	158,617	152,847	158,376	172,371	25%

## ★市町村国保会計がこれほどまでに黒字になっているのはなぜか

2008年度当時、大阪府全体の国保赤字は805億円で全国一でしたが、赤字幅は年々小さくなり、2017年度に初めて104億の黒字となりました。2021年度の黒字は138億円ですが、基金残高は316億円にも上り、両方を足すと454億円にも上ります。

表③を見ていただくとわかりますが、大阪府事業費納付金を被保険者で割り込んだ一人当必保険料収納額はこの6年間で平均27%もの値上がりです。

こうした事実からみると、事業費納付金を必要以上に大きく計算したことにより保険料の値上げを招き、その結果、どの市町村も大きく黒字を積み上げているのではないかと考えられます。繰り返しますが、こうした黒字は、統一方針が無ければ次年度繰越により保険料引下げができるはずのものであることを再度指摘したいと思います。

## ★国保は社会保障～「保険財政の安定的運営」になることで生活が破壊されてはならない

8月29日の大阪府国保運協では、担当者から「保険財政の安定的運営」(＝国保会計の黒字化)が強調されたと大商連・西村さんのご報告にあります。これは「高すぎる国保料」を支払わされている被保険者の犠牲のもとに成り立っています。

国保は社会保障です。いのちと暮らしを支えるものでなければならぬにも関わらず、この大阪の高すぎる国保料によって被保険者の暮らしが脅かされています。

大阪の統一保険料だけが際立って高額となっている問題については、大阪府に質問状を送付するとともに、厚労省に対しても問題提起を行います。

(文責 大阪社保協事務局長 寺内順子)

注)表①②データは厚労省国民健康保険事業報告から作成 表③は大阪府資料より寺内作成

### 【当面の機関会議・取り組み予定】

- 9月8日(金)北摂・豊能ブロック会議(14:00-吹田市職労)
- 9月13日(水)大阪の福祉医療費拡充実行委員会(10:00-12:00)
- 9月14日(木)河南ブロック会議(14:00-松原民商)
- 9月15日(金)守口社保協再建準備会介護保険学習会(18:30-)
- 9月16日(土)17日(日) 中央社保学校(岡山市・zoom)
- 9月21日(木)2023年度第4回常任幹事会(18:00-zoom)
- 9月25日(月)中央社保協国保厚労省交渉(10:30-zoom)
- 9月26日(火)社保協近畿ブロック事務局会議(15:00-ハイブリッド)
- 9月27日(水)近畿総決起集会実行委員会(15:00-)
- 9月29日(金)豊中社保協「国保料・介護保険料引下げ署名スタート集会」
- 10月4日(水)中央社保協介護障がい部会(10:30-)運営委員会(13:30-zoom)
- 10月5日(木)大阪社保協第7回事務局会議(14:00-zoom)  
大阪社保協介護保険対策委員会(19:00-zoom)
- 10月16日(月)中央社保協国保部会(10:00- zoom)
- 10月18日(水)社保協大阪市内ブロック(18:00-ハイブリッド)
- 10月19日(木) 2023年度第5回常任幹事会(18:00-zoom)
- 11月2日(木)大阪社保協第8回事務局会議(14:00-zoom)
- 11月5日(日)近畿総決起集会